

①学習課題（小学校6年生）



【国語】

<内容>

◆「帰り道(P17～P33)」に取り組みます。

- ①P18～P29を通して読み、物語の登場人物や場面の構成を確認します。
- ②以下の場面について、「律」と「周也」の視点から、ものの見方や考え方を想像し、お家の人に伝えたり取組シートにまとめたりしてみましょう。

※視点…物語などで、語り手などがその作品をどこから見て語っているかということ
(P309に言葉の意味が詳しく掲載されています。)

- (1) 周也が一人でしゃべり続けているとき
- (2) 昼休みの出来事
- (3) 二人ともだまりこんでしまったとき
- (4) 天気雨に降られたとき
- (5) 雨が上がり、二人で歩き始めたとき

(1)～(5)の場面で、「律」や「周也」の様子や会話などから、思っていることや考えていること、相手へ感じていること、ものの見方や考え方などを想像していきましょう。

◆「帰り道」「地域の施設を活用しよう」で学習する予定の新出漢字を取組シートに練習します。(読み方や書き順などは、P297～P298に掲載されています。)

<保護者による関わり方のポイント>

- ・この单元では、視点のちがいに着目して読み、感想をまとめていく学習をします。今週学習する部分は、学習の始まりの部分です。1場面は「律」の視点、2場面は「周也」の視点から同じ出来事が書かれています。お子さんによっては、このような構成の物語を初めて読むかもしれません。一度読んだ後に、「どんなお話だったかな。」とお子さんに尋ね、物語の構成を一緒に確認してあげてください。
- ・上記の(1)～(5)の内容が1・2場面のどの部分に書かれているか見付けて読むように声掛けをお願いします。見付けた部分からお子さんが想像したことを聞いてあげたり、ノートにまとめたりする様子を見守ってあげてください。お子さんが文章から言葉を基に考えたことを話したり書いたりしている時は、大いに認めてあげてください。
- ・漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように促すことも有効です。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。